

▶表4. かながきの例◀

可	不可	可	不可	可	不可
あいまって	相俟って	…くらい	位	とかく、とにかく	兎角
あえて	敢て	ぐあい	具合、工合	どこの	何処
あたかも	恰も	ここ	此処、茲、爰	どのの、どれ	何の、何
あと	後	…こと	事	…ところ	…所、何処
当たる、当てる	当る、充る	ことさら	殊更	…とりあえず	…連も
あらかじめ	予め	この、これ	此、是、之	ともい	取敢えず
あらゆる	凡、総、凡有	ごとく	如く	ないし	共に至
ある	土る、有る	ごとくに	毎に	なかな	乃至
あるいは	或は	ささあたり	差当り	なかな	尚、猶
…(と)いう	…(と)言う、… (と)云う、 如何(なる)、 (に)	ささしつかえ	差支	なぜ、ら	仲々、却々
いかん、いかなる	如何(なる)、 (に)	ささっそく	早速	なるほど	乍ら
いかに	…(して)行く	さしまぎ	左様々々	なるほど	何故
…(して)いく、ゆく	幾分	しまいで	強いて	(し)にくい	等、杯
いくぶん	何れ、孰れ、いづれ	しかし	併し、然し	はいる	成程
いずれ	徒に	しかしながら	然らず	はばかり	…(し)難い
いたずらに	…(して)頂く、 戴く	しきりに	頻りに	ひいて	入る
…(して)いただく	一々	しだいに	次第に	ひとつおり	甚だり、計
いちいち	何時	しばしば	屢々、屢次	ページ	延いて、惹いて
いつ	一切	しばらく	暫く	ほう(の)	一通り
いっさい	一諸に	しまじう	直に	ほう	一頁
いっしょに	一齊に	じまに	充分に	ほかに	方(の)
いっせいに	一層に	十分に	…(し)過ぎる	ほとんど	外に
いっそう	一体	…(し)すぎる	頗る	まことに	殆んど
いったい	一旦	すこぶち	即ち、則、乃	ままして	略に
いったん	一偏に	すばやい	素早い	ますまい	誠にして
いっばいに	未だ	すみてやかに	凡、総、全	ままだ	況して
いっぺんに	愈々	ずいぶん	速やかに	ままだ	益々
いまだ、まだ	居る	ずつ	為随分	ままだ	間違
いよいよ	色々の	せひ	宛分	ままだ	迄
…(して)いる、おる	所謂	その	是非	みならず	看做す、見做す
いろいろの	…(の)中	それぞれ	其処、夫	むろかしい、むつ	寧ろ
いわゆる	…(し)得る	…(し)たい	夫々	むろかしい、むつ	六ヶ敷い
…(の)うち	云々	たいせつ	…(し)度い	明りょうすん	明瞭
…(し)うる	於て	たいてい	大切	もつ	齋す
うんぬん	慨ね	たいへん	大抵	もつ	勿論
おいて	大凡、大約	たださん	大至	もつ	有つ
おおむね	…(して)置く	ただし	大夔	もつ	以て
おおよそ	遅い、晚い	ただち	沢山	もつ	下に、許に
…(して)おく	追って	ただち	唯、只、畜、惟	もつ	元、素、固より
おって	各々	ただち	但し	もつ	最早
おのおの	自ら	ただち	忽ち	もつ	…(し)易い
おのずから	…(した)、(の)	ただち	偶々、会々	もつ	厄介
おもむろに	折	ただち	為	もつ	矢張り
…(した)おり、… (の)おり	却てる、斯して	ただち	大分	もつ	不 得 已、止
かえって	斯拘ず	ただち	丈	もつ	動もすれば
かかる、かくして	且	ただち	段々	もつ	故に
かかわらず	恰好	ただち	因みに	もつ	所以
かつ	曾て、嘗て	ただち	丁度、恰度	もつ	好い、良い
かつこう	可兼	ただち	一丁、鳥渡	もつ	様子、容子
かつて	成々	ただち	就序	もつ	椽
かなり	予て	ただち	遂に	もつ	漸く、能く
かねがね	構わない	ただち	積りに	もつ	克余程
かねて	来す	ただち	丁寧	もつ	依、由、因、拠
かまわない		ただち	丁出来	もつ	立派
きたす		ただち	到底	もつ	分、判、解る
		…(の)とお	…(の)通	もつ	態々
				もつ	亘って、渡って